

## 愛知県環境影響評価審査会 会議録

- 1 日時 平成27年1月7日(水) 午前10時から午前11時30分まで
- 2 場所 自治センター 5階 研修室
- 3 議事
  - (1) 知多都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)知多南部広域環境組合ごみ処理施設(仮称)整備事業に係る計画段階環境配慮書について
  - (2) その他
- 4 出席者  
委員15名、説明のために出席した職員15名、都市計画決定権者及び事業者9名
- 5 傍聴人等  
傍聴人6名
- 6 会議内容
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    - ア 知多都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)知多南部広域環境組合ごみ処理施設(仮称)整備事業に係る計画段階環境配慮書について
      - ・ 知多都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)知多南部広域環境組合ごみ処理施設(仮称)整備事業に係る計画段階環境配慮書について、別紙1のとおり諮問を受けた。
      - ・ 資料1及び資料2について、事務局から説明があった。

### <質疑応答>

- 【那須委員】ごみ焼却施設の規模について、住民意見でごみ減量化の取組みによる規模見直しという意見があったが、一方でリニア中央新幹線開業に伴って知多地域の人口が増加した場合の予測はされているか。
- 【事務局】処理能力は知多南部地域循環型社会形成推進地域計画に基づき、283t/日としている。これは、将来の人口、ごみ減量化等の施策を踏まえて設定されたもので、今後計画の見直しがあれば、方法書以降、規模が見直されることになる。
- 【夏原委員】本配慮書は、条例に基づき送付されたものであり、制度的に問題はないと考えるが、位置の検討段階で環境面の配慮をする必要があるのではないか。

また、現有3施設を1施設に集約することによる廃棄物運搬車両の交通量を比較すべきではないか。1施設に集約することにより津波等で機能不全となった場合、ごみの行き場がなくなるリスクはどうか。

【事務局】ごみ焼却施設は、国の通知で、ダイオキシン類対策や効率性・費用面などから300t/日以上を目途に整備することとされており、今回の集約で283t/日となる。

位置の選定については、知多南部区域のごみ量分布の重心からの近さなど環境面も考慮したと聞いている。また、位置の選定は、用地確保の面も非常に大きく、地元の方の理解が不可欠である。本来なら、御指摘のとおり位置の検討段階で配慮書を作成することが望ましいが、建設予定地が決まってない段階で配慮書手続を行うと地元の方の理解が得られないこともあり、今回は位置の地元調整終了後の配慮書となった。

【田代委員】配慮書段階の調査では、既存資料が基本とのことだが、配慮書54ページの地盤沈下の調査地点は丘陵地などで、今回の計画地である昭和30年代の人工埋立地とは状況が異なると考えられる。埋立地の周辺工場の既存資料等があればわかりやすい。構造物が安全に建設できる地盤であるか詳しい状況がわかるとよい。

【事務局】審査会意見として盛り込む方向で検討したい。

【山澤委員】配慮書183ページの総合評価について、「大気質はいずれの案も環境基準値を下回っており、影響の違いはないものと考えられる。」とあるが、環境基準値を下回っているから、影響の違いはないという表現が気になる。顕著な違いはないという表現でどうか。

また、配慮書87ページの用途地域図では、計画地一帯は工業専用地域であるため住宅はないが、西側の準工業地域には住宅があると考えられる。住宅はどのあたりにあるか。

【事務局】御指摘のとおり影響の違いはないという表現は不適切と考える。今後の図書作成に当たり留意していく。

また、住宅については、配慮書84ページの土地利用の状況図で、計画地西側の一般低層住宅地がある。計画地から約150m離れている。

【大東会長】施設と住宅の距離の関係について、資料1の9ページにあるとおり配慮書段階の予測手法として示されている。例えば、西寄りの配置と東寄りの配置で、影響範囲に係る住宅の戸数に差が出るかという評価もできる。必ずしもシミュレーションで最大着地濃度を算出する必要はない。

【吉久委員】配慮書10ページの廃棄物運搬車両の走行ルートについて、臨港道路に沿って図のさらに南側に住宅があると思うが、ここも含めてほしい。

【事務局】配慮書の走行ルート図は、廃棄物運搬車両が最後に集中する場所である。方法書以降では、もう少し広範囲で環境影響を検討すべき地点があるかもしれない。方法書以降示していきたい。

【大東会長】配慮書では、まずどこに施設を造るのか、どれくらいのを造るのかを検討すべきだが、位置、規模が決まってしまうと、その影響の議論ができな  
い。廃棄物運搬ルートについても、本来どこにつくるかという複数案に対して  
どれだけの交通量が発生するかを比較すべきである。廃棄物処理施設や発電所  
は、用地確保の問題もあり、立地場所が制約されるため、方法書以降、環境影  
響の回避、低減をしっかりと検討していくことになる。どこに造るのかという段  
階で検討するのが配慮書の理想である。

【吉村委員】配慮書 10 ページの地図では、事業実施想定区域の西側に商業施設があ  
るが、ここからの景観の影響は、地域交流センターと比べてどうか。

【事務局】ほぼ同じであると思う。

- ・ 知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境組合ご  
み処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書について審査させる  
ため、大東会長の指名により、別紙2のとおり知多南部ごみ処理施設部会を  
設置した。

イ その他

- ・ 特になし。

(3) 閉会

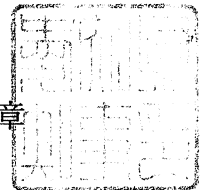
26環活第222-3号

平成27年 1月 7日

愛知県環境影響評価審査会

会長 大東 憲二 様

愛知県知事 大村 秀章



知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境組合  
ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書について（諮問）

このことについて、愛知県環境影響評価条例（平成10年愛知県条例第47号）第4条の7第4項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担当 環境部環境活動推進課  
環境影響評価グループ  
電話 052-954-6211（ダイヤルイン）

## 愛知県環境影響評価審査会 知多南部ごみ処理施設部会構成員

委員名	所 属 等
さかまき ふみお 酒巻 史郎	名城大学理工学部教授
たしろ むつみ 田代 むつみ	名古屋大学大学院工学研究科助教
たなか いねこ 田中 稲子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授
なす たみえ 那須 民江	中部大学生命健康科学部教授
なるせ いちろう 成瀬 一郎	名古屋大学エコトピア科学研究所教授
にしだ さちこ 西田 佐知子	名古屋大学博物館准教授
はせがわ あきこ 長谷川 明子	公益財団法人日本生態系協会評議員
まつお なおき 松尾 直規	中部大学工学部教授
みつだ めぐみ 光田 恵	大同大学情報学部教授
やなぎさわ のりお 柳澤 紀夫	元公益財団法人日本鳥類保護連盟理事
よしむら いづみ 吉村 いづみ	名古屋文化短期大学教授

(敬称略、五十音順)